

令和元年度下半期指定管理者管理運営状況シート

●施設の概要

施設名	長良児童センター	所管課	子ども未来部子ども支援課
所在地	岐阜市長良389番地2		
指定管理者名	社会福祉法人 日本児童育成園		
指定期間	平成29年4月1日～令和4年3月31日まで		
選定方法	<input checked="" type="checkbox"/> 公募 <input type="checkbox"/> 非公募		
料金制	<input type="checkbox"/> 使用料 <input type="checkbox"/> 利用料金 <input checked="" type="checkbox"/> 料金徴収なし		
指定管理委託料(年額)	16,045,666円		
施設の設置目的	児童に健全な遊びを与えて、その健康を増進し、又は情操を豊かにすることを目的とする。		
施設概要	◇構造:鉄筋コンクリート造2階建 ◇敷地面積:716.74㎡ ◇延床面積:515.50㎡ ◇施設内容:遊戯室、幼児室、集会室兼図書学習室、おもちゃ図書館、事務室兼静養室、駐車場		

●利用状況

		R01下半年期	R01上半期	H30下半年期	H30上半期	H29下半年期
利用者数 (単位:人)	来館者数	12,262	16,474	16,101	15,607	16,374
	移動児童館利用者数	947	1,299	1,319	1,005	1,516
各室稼働 状況	移動児童館実施回数(単位:回)	※19(9)	※24(14)	※25(14)	※19(16)	23
	開館日数(単位:日)	126	155	151	151	151

※実施回数(施設未設置地区実施回数)

●業務の履行確認

区分	確認事項	履行状況
利用者サービス	①開館日・開館時間の遵守 ②適切な人員配置 ③広報の方策 ④苦情への対応 ⑤仕様書、事業計画書に基づく事業の実施	①⑤は計画通り実施。 ②所長(正規職員、児童厚生員)、正規職員2人(児童厚生員2人(うち体育指導員1人)非常勤職員1人 ③毎月のおたよりは小学校・幼稚園・公民館・健康センターなどに配布し、ホームページを更新・記載。 ・地域の情報誌(ふれあいタイムス)に毎月の行事を掲載。 ④アンケートの要望に対する回答を館内に掲示。
自主事業・提案事業	—	—
施設管理	①施設設備の保守点検の実施 ②施設の衛生管理に対する配慮、快適に利用できる状態の保持 ③省エネルギー並びに環境への負荷の軽減に努めること ④施設・設備・備品等の維持管理	①適切に実施。誘導灯や警備等は定期保守点検を実施。 ②就労促進事業施設清掃班による施設の清掃を実施。12月には業者による窓ふき・ワックスがけも定期清掃を行った。3月には業者によるおもちゃ図書館の空調清掃を行った。職員による備品・おもちゃの消毒・ドレスの天日干し・絵本・漫画の本の整頓等定期的に実施。またおもちゃが整理しやすいよう写真付きで表示を行った。 ③使用していない部屋をこまめに消灯。冷暖房の調節等も行う。ペットボトル・トイレットペーパーの芯・牛乳パック等は廃材利用をしたり講師料削減のために自前行事やボランティアさんの活用をさせていただく機会も増やした。 ④おもちゃ病院の壊れたおもちゃの修繕を月1度お願いしている。建物の老朽化に伴う修理修繕要望や自主修繕等実施。
施設修繕	下記の観点からの修繕実施状況 ①迅速・適切な修繕の実施 ②指定管理者のノウハウを生かした修繕・整備	①センター内の簡単な修繕は職員が対応。来館者の増加により、修繕可能箇所が増加。おもちゃ図書館の入口と玄関入口・非常階段の入口と非常口の修繕を依頼修繕。 ②本体施設からのおもちゃや本の寄付等もある。特に「ワンピース」の漫画の本に関しては、新刊が出る都度ご寄付を頂いている。
危機管理・法令遵守	①個人情報の保護 ②非常時の対応策 ③関係法令の遵守	①、③は適切に実施、来館カードや参加者名簿等の管理を厳重にしている。センターで知りえた情報は厳重に保護している。 ②毎月の安全点検を継続。前期は洪水時の避難確保計画に基づき、避難確保計画の読み合わせと共にハンドメガホンやラジオ等を新調。洪水時のシュミレーションを頭に入れ情報共有することで危機管理意識を高めている。

●利用者評価

<p>利用者アンケートの実施状況</p>	<p>【保護者用(一般来館・クラブ参加)アンケート】 常設のアンケート箱に加え、令和2年12月4～21日に保護者(一般来館・クラブ参加)にアンケート(無記名)を実施。 回答69人 【小・中・高校生用アンケート】 常設のアンケート箱に加え、令和元年12月14・15に来館した児童・生徒にアンケート(無記名)を実施。 回答者数30人(小学:1年5人、2年5人、3年4人、4年6人、5年6人、6年2人、中学:1年2人)</p>
<p>利用者アンケートの実施結果</p>	<p>〈保護者用(一般来館・クラブ参加)アンケート〉 【校区】長良(6人) 長良東(24人) 長良西(20人) 常盤(3人) 鷺山(2人) 則武(1人) 日野(3人) 島(1人) 合渡(1人) 木田(1人) 芥見(1人) 長森西(1人) 長森北(1人) 本荘(1人) 市外(3人) 【年齢】10代(0%) 20代(12%) 30代(80%) 40代(8%) 50代以上(0%) 【利用頻度】初めて(10%) ほぼ毎日(1%) 週2～3回(8%) 週1回(20%) 2週間に1回(46%) 月1回(13%) その他(1%) 無回答(1%) 【来館相手】子(85%) 孫(0%) 友人(8%) その他(0%) 【子・孫の年齢】0才(13%) 1才(33%) 2才(34%) 3才以上(18%) 無回答(2%) 【来館方法】徒歩(13%) 自転車(11%) 自家用車(75%) 公共交通機関(1%) その他(0%) 【何で知った】ホームページ(44%) 広報紙・チラシ(8%) 学校(6%) 保育所・幼稚園(4%) 知人・友人(24%) ぎふし子育て応援アプリ(8%) ソーシャルメディア(1%) その他(6%) 無回答(3%) 【評価】 (あいさつ)……満足(98%)、ほぼ満足(1%)、普通(1%)、やや不満(0%)、不満(0%) (言葉づかい)……満足(98%)、ほぼ満足(1%)、普通(1%)、やや不満(0%)、不満(0%) (利用者対応)……満足(91%)、ほぼ満足(6%)、普通(3%)、やや不満(0%)、不満(0%) (利用しやすさ)……満足(70%)、ほぼ満足(20%)、普通(9%)、やや不満(1%)、不満(0%) (整理整頓)……満足(77%)、ほぼ満足(20%)、普通(3%)、やや不満(0%)、不満(0%) (清潔感)……満足(71%)、ほぼ満足(22%)、普通(6%)、やや不満(0%)、不満(0%) (換気)……満足(64%)、ほぼ満足(26%)、普通(10%)、やや不満(0%)、不満(0%) □ 〈小・中・高校生用アンケート〉 【学校名】長良小(16人) 長良東小(8人) 長良西小(2人) 東長良中(2人) 長良中(2人) 【学年】小学:1年(17%)、2年(17%)、3年(14%)、4年(20%)、5年(20%)、6年(6%)、 中学:1年(6%)、2年(0%)、3年(0%) 【利用頻度】初めて(0%)、毎日(10%)、週4・5回(3%)、週2・3回(44%)、週1回(13%)、 その他(30%) 【来館相手】ひとり(25%)、友人(48%)、兄弟姉妹(20%)、父母(7%)、祖父母(0%)、 親戚(0%)、その他(0%) 【来館方法】徒歩(39%)、自転車(58%)、自家用車(3%)、バス・電車(0%)、その他(0%) 【好きな遊び】ゾンビ(35%)、ぬりえ大会(13%)、カードゲーム(9%)、ボードゲーム(9%)、 にんぎょう遊び(0%)、カロム大会(9%)、キッカーボード(3%)、ベイブレード(9%) その他(13%)</p>
<p>利用者からの要望・苦情と対処・改善</p>	<p>要望⇒回答 ・おもちゃがもっとあるといい ⇒令和元年度後期は、玩具や絵本に予算を投じて児童用のボードゲームや乳幼児の絵本等を購入させていただきました。年齢に応じたおもちゃ等のご要望がありましたら検討させていただきますので、具体的にご提案いただけると有難いです。 ・オムツ交換の時、場所が廊下で寒く人通りがあるところなので変えてもらえると嬉しい。 ⇒現在、オムツの交換で利用いただける場所が多目的トイレに設置してあるオムツ交換台と廊下の簡易ベッドの2カ所になります。独立したおむつ替えスペースがあれば改善させていただきたいのですが、そういった場所を確保することが難しいのが現状です。思案しておりますが、良い方法がございましたらご提案していただけると有難いです。</p>

●指定管理者の選定基準に基づく評価

区分	選定基準	評価項目	具体的な業務要求水準	評価			
				指定管理者	所管課	評価委員会	
公平性 透明性	住民の平等利用が確保されること	①平等利用を確保するための体制、モニタリングなど	・利用者アンケートの実施 ・運営委員会の開催	A	A	A	
		②情報公開、広報の方策	・利用者アンケート結果の公表(館内掲示など) ・広範で適切な情報提供・広報活動の実施	A	A	A	
		区分評価			A		
効果性	事業計画書の内容が、対象施設の効用(設置目的)を最大限発揮するものであること	③既存業務の改善、工夫又は新規事業等の実施	・業務改善や工夫又は新規事業(行事)等の実施	S	S	S	
		④利用者ニーズ、苦情などの把握方法、対応方策及びサービスの質を確保するための体制	・利用者アンケートの実施 ・利用者ニーズ・苦情・クレームへの着実な対応・運営への反映	A	A	A	
		⑤利用者に対するサービス向上の方策(窓口対応、プロモーション、設備の整備など)	・移動児童館の実施 ・利用者へのサービス向上に繋がる方策の実施	S	S	S	
		⑥利用促進、利用者増の方策	・利用促進や利用者増に繋がる方策の実施	A	A	A	
		⑦施設の効用(設置目的)を最大限発揮できるスタッフの配置	・児童厚生員を2人以上、その他の職員(施設が児童センターの場合は体育指導員)を1人以上配置(このうち最低1人は常勤職員とすること)	A	A	A	
		区分評価			A		
		効率性	事業計画書の内容が、管理経費の縮減が図られるものであること	⑧指定管理経費の妥当性	・収支計画の妥当性及び適正な予算執行	A	A
⑨管理経費縮減の具体的方策	・管理経費縮減に繋がる方策の実施(リサイクルやリユース、節水・節電など)			A	A	A	
区分評価				A			
安定性 安全性	事業計画書に沿った管理を安定して行う物的能力、人的能力を有していること	⑩組織及びスタッフ(採用予定者も含む)の経歴、保有する資格、ノウハウ、専門知識等	・児童厚生員を2人以上、その他の職員(施設が児童センターの場合は体育指導員)を1人以上配置(このうち最低1人は常勤職員とすること)	A	A	A	
		⑪スタッフ(採用予定者も含む)の管理、監督体制	・事務分掌等に基づく管理・監督体制並びに事務分担の実施	A	A	A	
		⑫スタッフ(採用予定者も含む)の人材育成の方策	・職員の資質向上を図る研修の実施又は研修会への参加	A	A	A	
		⑬リスクへの対応方策(防止策、非常時の対応マニュアルなど)	・危機管理(リスク)や非常時対応のマニュアルの整備 ・リスク防止策の実践	A	A	A	
		区分評価			A		
貢献性	事業計画書の内容が、岐阜市あるいは施設がある特定の地域(以下「地元」という。)の振興、活性化などに貢献できるものであること	⑭地元の法人その他の団体の育成(一部業務の再委託先)、地元住民の活用(雇用又はボランティア等)	・地元の諸団体との連携、交流 ・地元の法人その他の団体の育成又は地元住民・高齢者・障がい者等の活用	A	A	A	
		⑮地元での社会活動等への参加	・地元の振興、活性化などに貢献できる社会活動等への参加(地元行事への参加)又は地元の団体・住民との協働事業等の実施	A	A	A	
		区分評価			A		

●指定管理者の取組みに対する自己評価(良否、課題と解決策など)

<p>今期の取組みに対する評価</p>	<p>・今期は今年一年の集大成として、4月から始まったすくすくタイムという行事等や今年2年目に突入したハッピーママサロン等、地域に浸透してきた結果が得られ子育て中の母親達に大変喜ばれた。この活動をきっかけに、登録制のクラブに発展したり、来館者アップにつなげることができた。 ・来館者同士の問題や子育てや発達相談等で専門の意見が必要な時には、保健センターやエール岐阜、栄養士、心理士等、関係機関連携して、一つの事柄を丁寧に解決していった。 ・中学生の不登校児の相談や居場所作りとしての受け入れをした。中学校と連携しながら子ども達の拠り所作りを心掛けた。特に、要保護児童には、職員間で共通理解・共通認識のもと、家庭・学校・行政・はこぶねと情報の提供や連携をとりながら、支援を行った。他にも、子ども達の進路相談、友だち関係、学校生活等、思春期の子ども達の気持ちに寄り添った。 ・今子ども達が何を求めているかを一早くキャッチし、興味深い題材の活動を心がけた。</p>
<p>前回までの意見を踏まえた取組み状況</p>	<p>・12月から駐車場の位置が元通りになり、利便性がよくなった。来館者数は保たれており、児童の来館者数は寒い時期にも関わらず横ばい状態であった。引き続き子ども達の好みのキャラクターのぬりえの題材に次々変更したり、ボードゲームを増やして友達と遊ぶ楽しさを味わせたりしながら、子ども達の興味を持つものを創意工夫・用意することで少子化対策や塾通いをする子にとって来館しやすくなるような児童センターとしての成果が得られた。 ・相変わらず上半期と同様、移動児童館も積極的にに行った。特に長年取り組んできた1歳児～未就園児親子対象で行っている自由参加型行事“ロボッ子タイム”はすっかり定着してきており、広範囲に及ぶ地域からの参加者が増加した。 ・0歳児～1歳児親子対象自由参加型行事“ハッピーママサロン”は、今年で2年目の行事になるが、初めての子育てで行き場所を探している母親達の憩いの場所になっていた。登録制ではないため、自由に自分の都合で動けるのも魅力の一つである。参加者はそれほど多くはないが、児童センターを知っていただけという点では大事な役割を担っている。ハッピーママサロンに参加され、幼児クラブへの登録をされる方が100パーセントであるという特徴もある。 ・中学生の来館が多くなっている。職員との長いつながりや、困った時等の居場所となっている。今年度は長良地区でも中学生の様々な問題があったが、その都度児童センターが話を聞いてもらえる貴重な場所づくりを心がけた。又、要保護児童の不登校の居場所となっていた事も特徴である。中学校と連携を取りながら、思春期の子ども達の気持ちに寄り添った。</p>
<p>今後の取組み</p>	<p>・今年度1歳児～未就園児親子対象で行った自由参加型行事“すくすくタイム”が大変好評を得たため、0歳児向けの自由参加型行事“ころころタイム”を新設する。相談業務も交えた行事を企画しており、絵本や体操の後に保健師さん等を交えてちょっとした母親同士の話合いの場になればと考える。 ・引き続き、子どもたちとの信頼関係を築き、中高生になっても居場所となるよう、学校などの関係機関と連携をとりながら見守ると共に、中高生が来館しやすい環境を作る為に、ボランティアとして活動できるような機会や、普通の遊びの中で活躍できる場を設けていきたい。</p>

●所管課の意見

<p>○毎月のおたよりを、担当地区の小学校・幼稚園・保育所・公民館・コミュニティセンター・保健センターに配布、ホームページにも掲載した。また、ホームページのブログには活動の様子を写真付きで紹介するなど利用者にわかりやすく児童館の情報を提供した。 ○新規事業として、児童主体の友遊クラブでプログラミングの行事を企画しており、今後小学校の授業にプログラミングが盛り込まれることを加味したうえで活動している点を評価したい。 ○既存事業の幼児自由参加型行事の「すくすくタイム」や、「ハッピーママサロン」などを通して、登録制のクラブへの発展や利用者の増加に努めた。 ○移動児童館について、年間通して積極的に実施したことにより、上半期だけで年間目標数値の24回(平均月2回)を実施するなどしており、地域の子育て支援に貢献した。 ○他の公共施設等で事故等の事例のある中、安全安心な施設運営に心掛け、事故等がなかったことは評価したい。 ○職員体制や経営状況についても問題なく運営されている。</p>
--

●指定管理者評価委員会の意見

<p>気になる利用者については、関係機関と連携して、丁寧に対応しているところを評価したい。 これからも利用者の声には応答的に答えていただきたい。 中学生の来館が増えており、広い世代の子どもたちにとっての居場所となっていることを評価する。今後は単に来館してもらうだけでなく、ボランティアとしてスタッフを手伝ってもらうなど、自身の有用性を感じることができるような取り組みも行ってほしい。 今後は新型コロナウイルス感染拡大防止対策を行った上で、行動指針やマニュアルに従いつつ、「児童に健全な遊びを与えて、その健康を増進し、又は情操をゆたかにすることを目的」とする児童館として利用者の安心・安全を考慮した運営を願いたい。 管理運営は適正に行われており、良好と認められる。</p>
